

Newsletterは、東京YWCAの事業活動を皆様にお伝えするための広報紙です。毎回特集で取り上げる事業を中心に、東京YWCAの今をお届けします。

特集

活動報告
Report

今号は、2023年度に行った事業の報告号です。新型コロナウイルスが5類に移行し、日常生活は感染対策をとりつつも感染拡大前にほぼ戻ってきたことから、予定していた事業は感染拡大を理由に中止することなく実施できました。皆様に心より感謝申し上げます。

“2023年度を振り返って、”

・ 平和と人権

むさしの平和チーム2023

2023年度、むさしの平和チームが実施したプログラム、シンポジウムをご紹介します

むさしの平和チームは東京YWCA武蔵野センターを拠点に活動し、平和の課題として沖縄をテーマの軸に据え、武蔵野地域の「むさしの市民平和月間」へも参加しています。

6月23日の沖縄慰霊の日に向けたSNSアクションではインスタグラムにて大学教授と若手研究者5人による沖縄の文化、環境、歴史、経済、基地問題の推薦図書を紹介し、沖縄への新たな知見を広げることに取り組みました。10月14日には沖縄では本土復帰後も行われていた私宅監置を取材した『夜明け前のう

た』の上映会と、監督らによるトークをカフマンホールで実施しました。人権侵害の問題は、日本、沖縄の歴史と同時に、家族の歴史としても刻まれるのだと考える時間となりました。11月25日「沖縄の米軍基地による環境汚染-日米沖関係-」では、講師に環境問題を中心に扱う沖縄のメディア/調査団体であるIPP河村雅美さんを迎え、武蔵野センターとオンラインでつなぎました。質疑応答では、PFOA(有機フッ素化合物)の問題は沖縄だけの問題ではないため、地域間での連帯の必要性があると盛り上がりました。



沖縄の米軍基地に関する講演会。35人が参加

ユース世代が集まってシンポジウムを開催

2024年3月23日「戦争体験の継承を考える」シンポジウムでは、沖縄・広島・長崎からの視点で非核・非戦を活動・研究のテーマとしている20代の5人が司会者・登壇者としてカフマンホールに集まりました。参加者からは若者の活躍に胸が躍った、YWCAが若い活動家の交流の場所になって欲しいなど、今後のユース主体のイベントへの期待が寄せられました。



「戦争体験の継承を考える」参加者53人。前日には登壇者らと事前学習として法政大学沖縄文化研究所を訪問しました



元気いっぱいの大学生ボランティアリーダーが活躍中です

・ 青少年育成

キャンプ再開 みんなの笑顔も再会

2023年夏、野尻キャンプには 子どもたちの笑顔があふれました

参加した子どもたちは、他の誰も立ち入らないプライベート空間で、優しくて頼もしい大学生リーダーと一緒に生活しながら、思いっきりキャンプを楽しみました。大学生リーダーは大人気で、多くの子どもたちがスキーキャンプにリピーターとなって参加しました。2024年度も安全で楽しいキャンプを続けていくために、リーダー養成を充実させていく予定です。4年ぶりに子どもたちの歓声に戻ってきた夏は、豊かな環境を次世代に残していくことの大切さを実感した夏でもありました。

・ 平和と人権

DV被害者の支援者が集合

支援の土台を学び「より良い支援」の提供を目指す

DV被害者(サバイバー)を支援する自治体の女性相談支援員や民間の支援員を対象にした研修を2023年度は7月と2月の2回実施し、延べ44人が受講しました。サバイバーの置かれた状況や背景を理解し寄り添った支援ができるよう、レ

クチャーやワークショップを通して体系的に学びました。また、この研修を受けた人を対象に、トレーニングの学びの振り返りや現場に戻り支援をする中で生まれた疑問への解決のため、フォローアップを実施し10人が参加しました。

支援者トレーニングと フォローアップに参加して

 N.S.さん(相談員・名古屋)

支援スキルを磨きたいと参加しましたが、加害者への恐怖、不安、絶望など様々な心の動きを疑似体験するワークを通し、当事者のことを何もわかっていなかったと思い知りました。相手の身になって考えるという支援の基本を改めて学びました。

・ 社会福祉

にじいる教室

陶芸、アートクラスで初めての作品展

「にじいる教室」は発達に課題やニーズのある子どもたちの体験活動です。陶芸、ヨガ&ダンス、料理、アート、体操の5つのクラスを行っています。板橋センターが改築20年を迎え、11月にオープナーを開催した会場で、陶芸とアートのクラスの作品展を教室開始以来初めて行いました。これまで自分と家族や身近な人の中で楽しんできた作品を、多くの人に鑑賞してもらったことは嬉しい経験となり、子どもたちの自信とモチベーションにつながる機会となりました。



作品展のために選び抜いた一品が勢揃い
題名にもみんなの感性が光りました

・ 平和と人権

『ガザに生きる』上映会

イスラエルとパレスチナの紛争を知る

パレスチナで30年以上取材を続けているジャーナリスト土井敏邦さんが監督した『ガザに生きる』5部作の上映会を2024年1月20日に開催しました。昨年10月に始まったイスラエルの大規模なガザ侵攻は、国際社会を二分し、現在も終結に至っていません。日本に住む私たちにできることはあるのか。今まで、イスラエルの占領が続くパレスチナの状況に目を向けてきただろうか。この上映会を通してパレスチナの声을聞き、今できることを考える機会となりました。



監督に最新のガザの状況を聞きました

・ 平和と人権

東日本大震災を
忘れない取り組みこの13年間は何だったのだろうか
私たちにできることは何だろうか

東日本大震災を忘れない取り組みとして、4月に福島市在住の写真家で高等学校美術教員の赤城修司さんを招き、2011年から今日まで13年間を写真で振り返りつつ感じてきたことを伺いました。福島の子どもたちをキャンプに招待する企画は、いわき市の重症心身障がい児ときょうだい児、保護者の受け入れを7月末で調整していましたが、日程が合わず今

回は見合わせました。このプログラムは、福島第一原発の事故が起きた2011年に生まれた子どもたちが20歳になるまで続けることを決めており、これまでのご寄付を原資に実施しています。9月に紛争・災害時緊急支援事業がスタートし、東日本大震災支援事業は引き継がれました。経験とネットワークを生かし日本YWCA等関連団体と連携して事業を行います。



募金は中央共同募金会を通して現地の支援活動に使われます

東日本大震災でできた
顔の見える関係

1月に能登半島地震が発生しました。東日本大震災から連携してきた東京ボランティア・市民活動センター、災害サポート東京、東京都が提案した都内一斉街頭募金にこたえ、東京YWCAも2月にJR御茶ノ水駅周辺で募金活動を行いました。

・ 女性の健康

肢体不自由者水泳

水泳を通して笑顔あふれる場所

「あひるの会」は肢体不自由者が水泳を通して喜びと自信を得られるようレクリエーションとして行っています。2023年度は8人が登録し、ボランティア12人と延べ92回実施しました。ご寄付でプール用車いすを1台購入し4台に増えたことで、プールサイドでの移動もスムーズになり、水泳後のシャワーを速やかに浴び体が冷えることも減りました。新しいボランティアが増え、先輩に指導を受けながら1人立ちを目指しています。



ピンクの浮き具で背浮き&水中ウォーキング「水が気持ちいい〜」

・ 青少年育成

日本語・学習支援

子どもが安心して成長できるように

「いちごの部屋」では、外国ルーツの子どものとその保護者を対象に、日本語支援を通して学校の勉強や生活のサポートをしています。2023年度は主に武蔵野市、三鷹市に住む、7か国にルーツのある子ども29人と保護者7人が登録、年間111日開室し、登録ボランティア34人が支援しました。保護者の情報共有や体験活動の場として、ペアレンツ・カフェをスタートし、また、学生や20代社会人のボランティアが「ユース会議」を開き、外出プログラムの企画を行うなど様々な取り組みができました。

※この事業は、「三菱財団×中央共同募金会～新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する～外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」を受けて実施しました。



ユース会議企画のお花見プログラム。公園内の江戸東京たてもの園へも



Event 東京YWCAのイベントをご紹介します。皆様ぜひご参加ください。



スキーキャンプ

冬休みと春休みのスキーキャンプは、夏のキャンプの楽しさをそのままグレンデへ！スキーはSAJ指導員に教えてもらえるので上達すること間違いなし！詳細は10月頃にホームページでご案内します。

Christmas for Peace 2024

クリスマスの時期に平和について考えるプログラムを行います。クリスチャンの人もノンクリスチャンの人もともに参加できる催しです。クリスマスメッセージを聞き、分かち合う時を持ちます。



黒姫高原スキー場の頂上からは野尻湖が見えます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止・変更する場合があります。最新のお知らせはホームページでご確認ください。

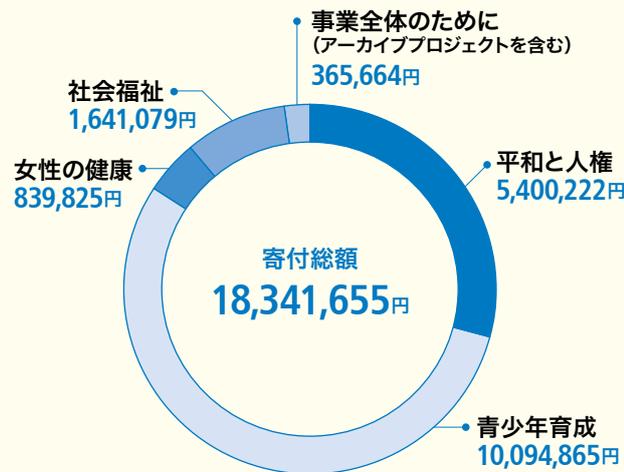


Report 2023年度 ご寄付とボランティアのご参加ありがとうございました

東京YWCAをご支援くださる皆様に心より感謝申し上げます。2023年度は寄付目標額636万円のところ、1834万1655円のご寄付をいただきました。ご支援くださいました多くの皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後とも東京YWCAへのお支えを心よりお願い申し上げます。

「2023年度 事業報告」のご案内

東京YWCAの事業報告および財務諸表は、ホームページで公開しています。今号でご紹介した活動以外の取り組みについても詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください。



寄付者延数

■個人419人 □法人8件 ■任意団体その他76件

平和と人権	182	8	30
青少年育成	80		6
女性の健康	72		3
社会福祉	39		30
事業全体のために	46		7

ボランティア延人数 3,691人

平和と人権	2,143
青少年育成	764
女性の健康	244
社会福祉	540

ご寄付・ボランティアのお問い合わせ先

銀行振込

お振り込み情報の確認のため、必ず寄付申込書をお送りください。
・ゆうちょ銀行(口座番号:10120 44516671)
・三菱UFJ銀行 神保町支店(口座番号:普通預金 1924322)
・みずほ銀行 九段支店(口座番号:普通預金 583583)
いずれも口座名義:公益財団法人東京YWCA

郵便振替

郵便局備え付けの払込用紙の通信欄に「寄付」とご記入ください。
・口座番号:00100-8-44681 加入者名:公益財団法人東京YWCA

財団管理部企画課 TEL:03-3293-5436 Email:kaiin@tokyo.ywca.or.jp

毎月の寄付

毎月決まった金額を継続してご寄付いただく「毎月の寄付」を始めました。詳細はQRコードからご覧ください。

「毎月の寄付」
始めました!



●公益財団法人東京YWCAへのご寄付及び賛助会費は、寄附金控除の対象となります。制度の詳細は国税庁ホームページをご覧ください。

ボランティア募集



関心がある方はぜひお問い合わせください。



公益財団法人東京YWCA
<https://www.tokyo.ywca.or.jp>

東京YWCA会館

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
TEL:03-3293-5421(代表) FAX:03-3293-5570
Email:office@tokyo.ywca.or.jp

・東京YWCA板橋センター
・東京YWCA国領センター
・東京YWCA武蔵野センター
・東京YWCA野尻キャンプ場

YWCA(ワイ・ダブリュー・シー・エー /Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む100以上の国・地域で活動しています。